

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立鹿本中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	65.0%	50.0%
令和 7 年度の目標	65.0%	50.0%
令和 6 年度の結果	61.0%	48.3%
令和 5 年度の結果	60.0%	40.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	65.7%	42.6%	54.1%
第 1 学年	62.7%	50.5%	66.2%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	- 生徒の学力向上と定着を常に意識し、授業を工夫する。 - 単元計画の中で、探究的活動を必ず設定する。 - 定着しているかを振り返る取組を各自怠らない。	- 漢字コンテスト、計算コンテストなどの学習コンテストを学期に 1 回実施する。 - 家庭学習で、効果的な予習・復習をできるように家庭学習の手引きを作成し、指導する。	- 生活リズムを見直し、家庭とも連携をとって各自タイムスケジュールを立てる。 - 学期末に振り返る機会をつくる。 - 家庭学習の手引きを作成し、ガイダンス等で浸透させ活用させる。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	- 視覚的な板書を工夫し、机間指導を行う。 - 主体的に学ぶ力を引き出し、伸ばしていく指導を心がける。	- 学習意欲を高め、放課後補習事業者と連携して実施する。 - 基礎基本を大切に、継続的に取り組める課題を設ける。	- 家庭と必要に応じて連携をとる。 - 学習計画表を用いて計画の立て方の指導を随時行う。
成果指標	- 全国学力調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」 - 肯定的な回答80%以上を目指す。	- 漢字コンテスト、計算コンテストで80点以上取る。 - 達成割合80%以上を目指す。	- 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」 1 時間以上の回答割合70%以上を目指す。